

|          |   |      |  |
|----------|---|------|--|
| 科目名      | 哲学のみちしるべ  | 科目分類 | <input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)  |
|          |   |      | <input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)   |
|          |   |      | 全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択   |
|          |   |      | 学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択   |
| 英文表記     | Introduction to Philosophy  | 開講年次 | <input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年 |
| ふりがな     | ぜにや あきお   | 開講期間 | <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中 |
| 担当者名     | 銭谷 秋生   | 修得単位 | 2単位  |
| 授業のテーマ   | 哲学の根本問題を理解する  |      |  |
| 授業概要     | この講義では、哲学の世界で探究されている代表的な問いを取り上げ、それを腑分けしながら、哲学的に考える筋道を提示します。主として取り上げる問いは、例えば「有るとはどういうことか」や「時間はどこを流れているのか」あるいは「心をもつとはどういうことか」といった、我々の知識や経験の構造を問題にする問いです。問いそのものは古典的ですが、できるだけ現代の哲学者たちの思索を参照して考察を進めます。 |      |  |
| 到達目標     | 哲学的な問いのたて方と展開の仕方を学ぶことで、人間とその世界を学び直すことができる。  |      |  |
| 授業時間外の学習 | 1. 授業の場で適宜参考文献を紹介いたしますから、必要に応じてそれに目を通してください。<br>2. 授業の最後に「問い」を出す場合がありますから、次回まで、その問いに自分ならばどう答えるかを考え、書き出してきてください。   |      |  |
| 履修条件     | 哲学に関する予備知識は必要ありませんが、現代文をきちんと読む練習はしておいてください。   |      |  |
| 授業計画     |   |      |  |
| 第1回      | イントロダクション：なぜ、哲学という学問が存在するのか。そして、哲学は何を問題とする学問なのか。  |      |  |
| 第2回      | この現実が何ものかが見ている夢ではないとどうやって言えるか。(その1 デカルトの問い)   |      |  |
| 第3回      | この現実が何ものかが見ている夢ではないとどうやって言えるか。(その2 真理の実在論と反実在論)   |      |  |
| 第4回      | 何かが「有る」とはどういうことか。(その1 存在論の根本問題：素朴実在論は成り立つか)   |      |  |
| 第5回      | 何かが「有る」とはどういうことか。(その2 物が有るとは観念として有るということか)  |      |  |
| 第6回      | 何かが「有る」とはどういうことか。(その3 観念論は成り立つか)  |      |  |
| 第7回      | 何かが「有る」とはどういうことか。(その4 実在論の再構成)  |      |  |
| 第8回      | 科学的実在論と反実在論。(その1 観察不可能なものの存在をどう捉えるか)  |      |  |
| 第9回      | 科学的実在論と反実在論。(その2 理論の決定不全性)  |      |  |
| 第10回     | 時はどこを流れているのか。(その1 過去が成立する場)   |      |  |
| 第11回     | 時はどこを流れているのか。(その2 世界の概念的把握と時間の成立)   |      |  |
| 第12回     | 心をもつとはどういうことか。(その1 「心と身体」をめぐる二つの謎)  |      |  |
| 第13回     | 心をもつとはどういうことか。(その2 伝統的な心身二元論とその破綻)  |      |  |
| 第14回     | 心をもつとはどういうことか。(その3 因果説と心脳同一説)   |      |  |
| 第15回     | 心をもつとはどういうことか。(その4 非法則的一元論と創発説)   |      |  |
| 第16回     | 定期試験  |      |  |
| テキスト     | 毎回プリントを配布し、それに沿って講義します。   |      |  |
| 参考文献・資料  | 門脇 俊介 「現代哲学」産業図書 (2002)<br>金杉 武司 「心の哲学入門」勁草書房 (2007)  |      |  |
| 成績評価の方法  | 授業中の小テスト(20%)と定期試験(80%)を基に総合的に評価します。なお、出席回数が規定に満たない場合は定期試験を受けることができません。   |      |  |

|           |  |
|-----------|--|
| 成績評価基準    | <b>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】</b><br>優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)<br><b>【平成28年度(2016)以降に入学した学生】</b><br>秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) |
| オフィスアワー   | 講義後  |
| 学生へのメッセージ | 毎回、皆さんに発言してもらいますから、指名された場合は臆することなく意見を言ってください。  |